

危険ごみ

乾電池や家庭用機器のバッテリーなど爆発の危険のあるごみや水銀（体温計など）の取り扱いに注意が必要なごみです。

●危険ごみ

乾電池、電球、蛍光灯、水銀体温計、カセットボンベ、スプレー缶、（エアゾール缶）、ライター、バッテリー（家電製品用）など



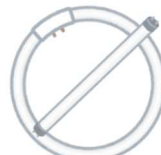
乾電池



スプレー缶



ボタン電池



蛍光灯



ライター

分別するときは、商品説明等をよく見て注意して分別してください。

バッテリーを使用する家電製品で、バッテリーが取りはずせないものはそのまま【危険ごみ】に出してください。バッテリーが取りはずせる家電製品はバッテリーを【危険ごみ】に、本体を【もやせないごみ】に出してください。蛍光灯は、購入時の箱等に入れて【危険ごみ】に出してください。

スプレー缶は、**必ず使い切って**から出してください。

※危険ですので、穴をあけないでください。

※以前は、穴をあけて出していたいただきましたが、穴をあけたことによる事故をきっかけに、現在は穴をあけないで出していただくようになっています。

●バッテリー

ビデオカメラやデジタルカメラは【もやせないごみ】ですが、バッテリーは【危険ごみ】です。分別して出しましょう。



危険ごみが正しく分別されていなくて、爆発事故や火災が発生した事例もあるの。正しい分別をお願いね。



●出し方の注意！

危険ごみは、出し方を間違えると、収集所を利用する方に危険が及びます。安全確保のためにも、正しい分別をお願いします。

★知ってますか？

「危険ごみ」は家庭で使用するものに限ります。さらに古くなった燃料や車のエンジンオイル、ペンキ（塗料）などは危険物ですが「危険ごみ」に出すことはできません。